

# Uターンのご相談はこちらへ

## ながさき移住サポートセンター

県と県内21市町が共同で運営し、就職・転職や住まい探しなどU・Iターンに関するさまざまなサポートを行っています。Uターンを検討している方はもちろん、ご家族や知人の方もお気軽にご相談ください。

県外で暮らすお子さんやお孫さん、ご友人などへお知らせ頼むばい！



### 主な支援内容の紹介

#### 仕事

- 県内への就職・転職を専門の相談員がしっかりサポート
- 関係機関との連携などにより、ハローワークに出ていない求人情報にも対応



#### 住まい・暮らし

- 市町の空き家バンクや不動産会社などと連携し、住まい探しをサポート
- 医療や子育て、生活コストなど、生活環境に関する各種問い合わせに対応



### 窓口連絡先の紹介

#### 長崎本部

長崎市尾上町3-1 県庁4階

☎095-894-3581(直通)

受付時間 9時~17時(月~金曜)

※祝日、12/29~1/3を除く



#### 長崎県大阪事務所

テレビ電話を使って長崎本部に移住相談ができます(事前予約が必要)

大阪市北区梅田1-3-1-800

(大阪駅前第1ビル8階)

☎06-6341-0012(直通)

受付時間 9時~17時(月~金曜)

※祝日、12/29~1/3を除く

#### 東京窓口

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8階(ふるさと回帰支援センター内)

☎080-7735-3852(直通)

受付時間 10時~18時(月曜休館)

※祝日、8/11~16、12/29~1/3を除く

#### ながさきUIターン就職支援センター(福岡市)

長崎県内への就職を希望する福岡県在住の学生や移住希望者向けの相談窓口です。

福岡市中央区西中洲6-27

(親和銀行福岡ビル5階DIAGONAL RUN FUKUOKA内)

☎080-8392-4936(直通)

受付時間 9時~17時45分(月~金曜)

※祝日、12/29~1/3を除く

### ながさき移住倶楽部 登録無料

会員登録すると、本県へのU・Iターンに関する最新情報を入手できるほか、さまざまな特典やサービスを受けることができます。



#### 主な特典

- 引越料金・レンタカー料金の割引
- 宿泊施設での割引サービス など

## ながさき移住ナビ

おかえり長崎 ようこそ長崎

ながさき移住 検索



ながさき移住サポートセンター Facebookもチェック!

# 特集 ふるさと長崎はいつでも待ってるけんね

~あなたを待っている人がいる。あなたが活躍する場所がある~



移住者や地元の皆さん(東彼杵町 千綿駅)

### U・Iターン者を受け入れて地域を元気に

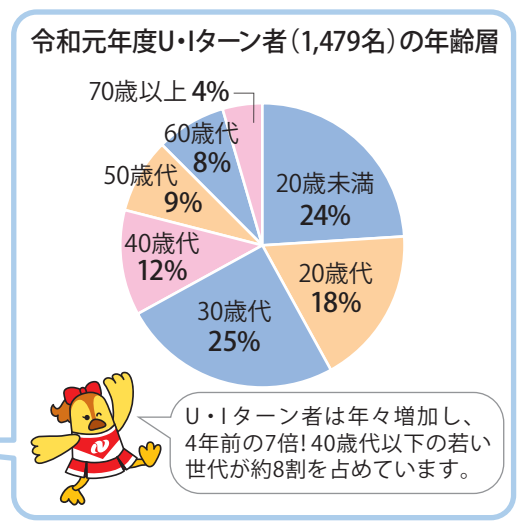
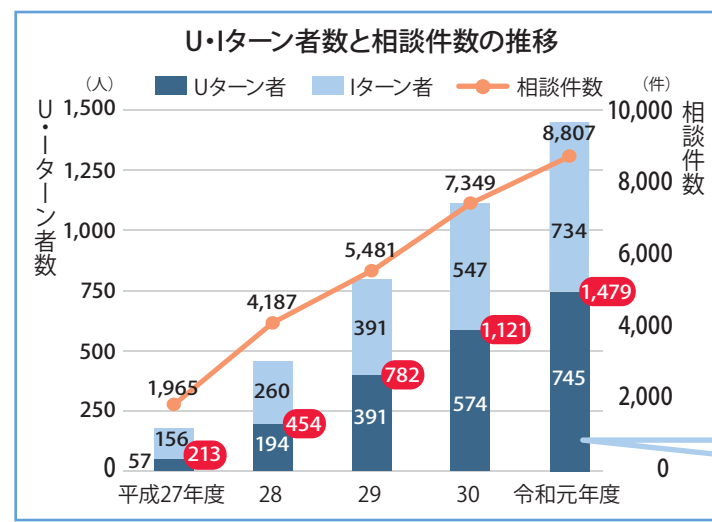
本県では、少子高齢化や若者を中心とした県外への転出などにより人口減少が進んでいることから、移住に関する情報発信や相談体制を強化し、U・Iターン者などの就業・創業・事業承継を支援して、移住の促進に取り組んでいます。

U・Iターン者を呼び込むことは、地域の産業やコミュニティの担い手の確保につながるほか、地域に眠っていた魅力が掘り起こされるなど、地域が活気を取り戻すきっかけにもなっています。

これまでの取り組みにより、近年は、結婚や子育てを機に、ふるさとへUターンする働き盛りの世代の方も増えてきています。

さらに、場所を問わず、どこでも働くことができるリモートワークの急速な普及により、都市部を離れ、地方で暮らすニーズが増えることも期待されます。

U・Iターン者の受け入れや定住を進め、活力ある長崎県を維持していくために、県民の皆さんのご協力をお願いします。



## Uターンの先輩たち～地域活性化に貢献していただいています！～

### 漁業者編

しみず まこと  
志水 周さん

松浦市在住8年2カ月



松浦市出身の志水さんは、高校卒業後、大阪で料理人として15年間働いていましたが、地元で父親と同じ漁師になりたいという思いが強まり、ご家族でUターンしました。移住について「地域の皆さんは家族のように優しく接してくれるし、仲間もたくさんいるので、不安はありませんでした。自然に親しめるので、子どもはのびのび育っています」とふるさとの魅力を話してくれました。

移住後、地域行事に積極的に参加する志水さんに今後の漁業について尋ねると「高齢化が進み、後継者が減ってきています。漁業は『食』を支える重要な産業です。興味がある方はぜひ長崎で漁師になってほしいです」と熱く語ってくれました。

### 農業者編

みぞぐち ながゆき  
溝口 永幸さん

大村市在住1年3カ月



長与町出身の溝口さんは、妻と2人で東京に暮らしていましたが、両親の近くに住みたいと、Uターンを検討するようになり、東京で開催された県の移住相談会に参加しました。もともと体を動かすのが好きだったという溝口さん。「相談会で新規就農相談センターの相談員や大村市の担当者が親身になって相談に乗ってくださったおかげで、農業を始めることや移住後の生活についての不安が軽減されました」と話してくれました。

移住後は、就農研修が休みの日に夫婦で県内各地を訪れ、山や海など自然を満喫しているそうです。今後については、「まずはトマト農家としての経営を確立するのが第一目標。移住者の一人として、長崎の良さを県外へPRしていきたいです」と力強く語ってくれました。

### 創業者編

たかさきのりか  
高崎 宣華さん

五島市在住8カ月



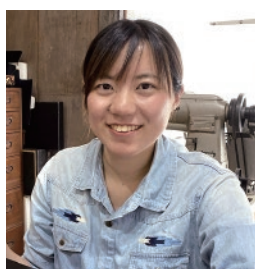
五島市出身の高崎さんは、高校卒業後に美容専門学校を経て、福岡で美容師として働いていましたが、昨年夫と2人でUターンしました。「30代のうちに帰ってくることを決めていました。新鮮な食べ物が安くておいしいのが嬉しいです。両親が近くに住んでいるのも安心します」と高崎さん。有人国境離島法による創業支援を活用し、地元の食材を豊富に使ったメニューを提供する飲食店「Om m O wamm O」を3月にオープンしました。

「今後は、美容室も開業するのが目標です。地域のお客様に喜んでいただきたいですし、飲食店では観光客のおもてなしもしたい。まちを元気にするお手伝いのできたら嬉しいです」と地域活性化への思いを話してくれました。

### 地域おこし協力隊編

おがわ かおり  
小川 香織さん

対馬市在住8カ月



対馬市出身の小川さんは高校卒業後、島外の専門学校で製菓技術を学び、徳島県の製菓店でパティシエとして働いていましたが、国内外のさまざまな土地で生活する中で、対馬の良さを再確認。ふるさとに貢献したいとの思いが強まりUターンを決めました。

現在、対馬市島おこし協働隊として中対馬地域のU・Iターン促進などを担当している小川さん。最近ではInstagramで「つしまびと」というアカウントを運営し、島へ移住した皆さんの暮らしを紹介しています。

将来の夢について尋ねると「猪や鹿などによる獣害対策などにも携わりたいです。また、パティシエの経験を生かし、住民のためのカフェを経営できないかと考えています」と話してくれました。

## Uターン後のチャレンジなどさまざまな就業への支援

### 創業・事業承継など

都市部からの移住を促進するとともに、地域の雇用創出につながる創業・事業承継などに取り組む事業者を支援します。(公募期間については、ウェブサイトをご確認ください)  
市町によっては、このほかにもさまざまな支援策が用意されています。



①～③はこちら

#### ①移住支援

東京圏から長崎県への移住者に対し、1世帯当たり100万円を給付(単身の場合は60万円)

**対象** 住民票を移す直前10年間のうち通算5年以上東京23区に在住または通勤していた方など

**要件** 就職支援サイト「Nなび」掲載の対象企業※へ就業した方、または創業支援金を活用して県内で創業する方  
※ **移住支援** マークが付いた企業

#### ③事業承継支援

県内で事業承継する事業者に対し、事業承継に要する経費を最大100万円補助(補助率1/2)

**対象** 事業承継予定者

**要件** ●地域の住民生活の支障を解消または緩和する事業  
●地域の伝統的な産業を継承する事業など

#### ②創業支援

創業に要する経費を最大200万円補助(補助率1/2)

**対象** 創業予定者

**要件** ●地域課題の解決につながる社会的事業  
●県内で実施する事業

#### ④有人国境離島法による創業、事業拡大支援

設備投資資金や人件費、広告宣伝費などの運転資金を最長5年間補助(補助率3/4)

**対象** 国境離島地域(対馬、壱岐、五島列島)において新たな雇用を生む創業または事業拡大を行う方

◎補助金の年間上限額

●創業 450万円  
●事業拡大 1,200万円



### 一次産業への就業支援

就業相談や技術習得など、さまざまな支援を行っています。お気軽にご相談ください。

#### 農業

長崎県新規就農相談センター  
☎0957-25-0031



#### 漁業

県の水産経営課  
☎095-895-2832



#### 林業

長崎県林業協会  
(林業労働力確保支援センター)  
☎0957-25-0184



## 関係人口を増やす取り組み～移住だけではない、新たな人口減少対策～

- 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもなく、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことを「関係人口」といい、注目を集めています。
- 県内でも、農家・漁家での民泊や離島留学などの取り組みを通じ、地域外の多様な人々が関わりを持つことで、地域が活性化し、将来的に移住につながることも期待されています。
- 県民の皆さんも、地域外の方にも地域づくり活動に参加してもらうなど「関係人口」を増やす取り組みにご協力をお願いします。



離島留学での田植え体験(五島南高校)